



市民の生活の移動手段となる 地域公共交通

地域の課題解決の「手」となるか。
大田市内での新たな実証実験について
をご紹介します



公共交通のピンチ!?

バス運転手
担い手不足が深刻です

今、公共交通の根幹を支える路線バスの担い手不足が深刻化しています。運転手の高齢化や、若い運転手が不足しており、大田市に限らず全国的な問題となっています。原因のひとつは大型二種免許の取得が低下していることがあげられます。若い世代が気軽に取得できるようになれば課題解決の可能性が生まれそうです。

免許を取得している方は、ぜひ大田市へUターン、Iターンして力を貸してください。みんなで更に住みよいまちづくりを目指しましょう。

Green Slow Mobility グリーン・スロー・モビリティ

グリーン・スロー・モビリティ（以下グリーン・スロー）は二酸化炭素を排出しない電動車両を利用して、地域が抱える交通課題の解決を目指す取り組みです。

大田市大森町の世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」内では、石見銀山公園から龍源寺間歩までの車両進入規制区間（約2.3km）の利便性向上や大森の町並みの公共交通空白地解消を目指し、昨年、環境省事業に申請し、環境に配慮した持続可能な公共交通を目指すグリーン・スローモデル事業の実証地域として、全国7地域の1つに選定されました。

昨年12月から大森町内でグリーン・スロー実証実験が行われており、地元住民や事業者と協議を重ねながら、今後の運行方法について検討を行っています。



大森の町並みを走るカート

今後はインターネットを活用した（ICT）技術を用いたバスロケーションの導入などを計画しています。

【お問合せ先】
大田市観光振興課
☎0854-88-6267

Mobility as a Service モビリティ・アズ・ア・サービス 「井田いきいきタクシー」

モビリティ・アズ・ア・サービス（以下MaaS）はスマートフォンアプリ等のICT技術を用いて予約や決済が行える新たなサービスです。

温泉津町の井田地区は少子高齢化が著しく、地域の住民は温泉津町中心部へのアクセスに不便を抱えています。昨年、国土交通省のモデル事業に採択され、11月から運行の実証実験が行われています。

注目すべきは、スマートフォンで予約・決済が出来るMaaSを取り入れているのももちろんのこと、月額3300円の定額制であるという点です。利用者の負担が少ない定額制で、安心して利用できます。この方法が中山間地域の抱える課題解決策のひとつ



出発を見送られる井田いきいきタクシー

【お問合せ先】
大田市まちづくり定住課
☎0854-833-8029



石見交通バス